学校番号	411

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学Ⅱ アドバンス	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　数学Ⅱ（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ⅱ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業中の練習問題、問題集の問題は必ず自分の力で解いてください。間違えた問題は、解説を読み、どこで間違えていたのか確認しましょう。また、分からない問題も、解き方を覚えるのではなく、解説の一文一文をしっかり理解しながら読み進めてください。
毎回の授業を大切にし、分からない部分があったらその都度質問して、疑問点を解消してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な概念や原理・法則（公式）などの知識の習得と技能の習熟ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
原理・法則を理解し、事象について論理的に考察と表現を行うことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に課題に取り組み、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	三角関数，指数関数・対数関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身につける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	三角関数	・三角関数 ・加法定理	a: 一般角を表す動径を図示したり，動径の表す角を $\alpha + 360^\circ \times n$ の形で表したりすることができる。2倍角の公式，半角の公式を利用して，三角関数の値を求めることができる。 b: 単位円上の点の動きから，三角関数のグラフを考えることができる。角を弧度法で表した場合にも，加法定理が適用できる。 c: 周期関数に興味をもち，その性質を調べようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
2学期	指数関数と対数関数	・指数関数 ・対数関数	a: 底と1の大小に注意して，指数関数を含む不等式を解くことができる。対数の定義を理解し，対数の値を求めることができる。 b: 累乗根をグラフによって考察することができる。対数関数の増減によって，大小関係や方程式・不等式を考察することができる。 c: 累乗根の性質に興味を示し，具体的に証明しようとする。やや複雑な対数方程式，対数不等式に積極的に取り組もうとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出
3学期	微分法と積分法	・微分法 ・積分法	a: 導関数を利用して，関数の極値を求めたり，グラフをかいたりすることができる。定積分の定義や性質を理解し，それを利用する定積分の計算方法を理解している。 b: 導関数を表す種々の記号を理解しており，それらを適切に使うことができる。微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。 c: 接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察しようとする。面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数の 1 つであることに興味・関心をもち，考察しようとしている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度